

学校の「きまり」の作成手順（案）

導入	ステップ0	メンバーの選定 プロジェクトを中心的に進める児童を募集もしくはこちらから決める。児童会か生活委員会 話し合いの場づくりをする 今後の活動の進め方を確認する
	ステップ1	ルールの基本認識を形成 ルールとは何か。学校の決まりは何のためにあるのか。決まりを見直すうえで意識すべきことは何か 以上のことについてメンバー内で共有する。 扱う「ルール」や「きまり」の範囲について認識を合わせる
見直すルールの選定	ステップ2	検討するルールを見つける ルールや決まりの中で検討する候補を決める（ある程度教師の方で考える決まりを絞っておく） *メンバーだけでなく、高学年もしくは6年の声を拾い上げる
	ステップ3	ステップ2から上がったものの中から見直すルールを選ぶ *選定の基準やポイントを提示しながら進める。重要性・緊急性・実現可能性メンバーの想いや問題意識 *ほかの児童の意見もある程度フォーム等で集めて置き、他の児童も選定プロセスに関与できるようにする 選定結果について教職員にも発表する
ルールの調査や対話	ステップ4	調査や対話の計画を立てる 選定したルールについてどんな人の意見を聞きたいか、どのような調査や対話をしたいかなどについて話し合う 例：ルールへの支持度、賛否、その理由、考えうる改善策、どこまでなら認めてよいと思うか *ルールに関係する人を整理し、対象や方法を考える *意見交換会、アンケート、インタビュー、意見箱
	ステップ5	調査や対話を実施し計画をまとめる ステップ4の計画に基づいて調査や対話を実施する 調査や対話を通じて得られたことを整理し、分析する
提案の作成	ステップ6	新ルール（解決策）を考える ステップ5の結果も踏まえ、新ルールや解決策を考える *場合によってはルールを変えるのではなく、現行ルールの中でできる解決策を考えてもよい *他校の事例の調査や他校の生徒との意見交換も選択肢や視野を広げるうえで効果的 *弁護士など専門家のアドバイスを求めるのもよい 提案に先だちフィードバックを得る機会や生徒や教員、学校関係者との意見交換の機会を設けるとよい
提案と実施	ステップ7	新ルール（解決策）を提案する 新ルールや解決策を管理職や教職員に提案し、意見交換を行う 提案を踏まえ、校内での検討や調整を行う
	ステップ8	新ルールを適用する（試行する） 全校生徒に新ルールについて説明する 実際に新ルールを適用する *初めから新しいルールに全面的に変えるのではなく、期間限定で試験的に適用し、検証する方法もある
	ステップ9	ふりかえりや見直しを行う 新ルールや解決策を検証する 今後の検討事項や課題について話し合う。 活動の進め方や学んだことについてふりかえる *一連の活動のまとめとなる成果物を作ることも、活動の振り返りの効果的な方法である